

桂キャンパス～榎原盆山交差点の間の歩道上にある凹凸の改修について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年7月2日）

京都大学桂キャンパス～国道9号線榎原盆山交差点を結ぶ道路のキャンパス側から見て左側の歩道上に、何か所か木の根が張っているために歩道が盛り上がっているところがあります。特に左手にため池のある付近の凹凸は、自転車で坂を下る際に転倒する原因となり、大変危険です。

この歩道は自転車の走行が可能であり、桂キャンパスへはここを歩いて電動アシスト自転車等で通学する学生も結構います。

もちろん、この道路の管理者は京都市ではありますが、この道が桂キャンパスへの通学路として広く用いられている事実を鑑みれば、大学側としても学生等の安全確保の観点から、歩道も含めて定期的にこの道路を点検し（または点検を依頼し）、異常があれば早急に京都市と協議して改修工事を行う体制を整えていただきたいと思います。

特に、先ほど挙げた左手にため池のある付近の凹凸は今すぐに改修工事をしていただきたいと思います。

【回答】（回答日：2018年7月12日）

（桂地区（工学研究科）事務部）

ご指摘ありがとうございます。

7月9日（月）に現地確認を行ったうえで、管理者である京都市の担当部局：西京土木事務所へ現状を連絡いたしました。西京土木事務所からは、本格的な改修は予算要望が必要なため、来年度以降となること、現地調査をして必要な応急の処置等も検討したいとの回答を得ております。7月10日（火）現在、西京土木事務所により現場に赤色コーンが設置され注意が促されている状況です。

京都大学としては、市が管理する場所であり、直接改修等を行うことはできませんので、今後も京都市へ状況の確認をし、早急な改修を要望していきたく考えています。改修が完了するまでは、路面状態に十分注意し、安全な走行を心がけるよう御願いたします。